

# びふか 議会です

## こんにちは。

### 2013年1月号

発行 / 北海道美深町議会 編集 / 議会広報特別委員会

〒098-2252 北海道中川郡美深町字西町18番地 TEL01656-2-1651

印刷 / 南美深印刷



お兄ちゃん、お姉ちゃん

# ありがとう



美高3年生幼児センター訪問

シリーズ  
笑顔をつなぐ④

「ほっとプラザ・スマイル」指定管理へ・・・ 2P～4P  
第4回定例会

町政のここが聞きたい …… 5P～7P  
一般質問に3議員

委員会レポート …… 8P～9P

## 第84号

# 第4回定例会

12月11日～13日

## 地域主権へ着々と

### 関連条例を整備

条例制定

一昨年国において成立・公布された、いわゆる「地域主権一括法」や「介護保険法」の改正により、

「義務付け・枠付け」の見直しと、条例制定権の拡大が認められ、これまで国が定めていた基準を条例で定めた。

関係する法律は、

- ① 介護保険法
- ② 道路法
- ③ 河川法
- ④ 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の規定に基づいた。
- ⑤ については、以下の6条例を改正するもので、条例に整備基準や技術的基準などを定めた。
- ・ 公営住宅管理条例
- ・ 給水条例
- ・ 簡易水道事業条例
- ・ 都市公園条例
- ・ 公共下水道条例
- ・ 廃棄物処理施設置条例

国の地域主権改革一括法の改正に伴う

5件の条例を制定・整備

- ① 美深町 指定地域密着型サービス及び指定地域密着型介護予防サービスの事業に関する基準等を定める条例
- ② 美深町 道路の構造の技術的基準等を定める条例
- ③ 美深町 準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例
- ④ 美深町 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る道路の構造及び公園施設の設置に関する基準を定める条例
- ⑤ 地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

### 美深町議会会議規則の一部改正

### 美深町議会委員会条例の一部改正

### 美深町議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正

### 議員提案

発議 3件

#### 改正の趣旨と主な改正点

##### ● 会議規則の一部改正

これまで委員会のみ認められていた公聴会の開催や、参考人の招致が本会議においても委員会同様、可能になった。

##### ● 委員会条例の一部改正

常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会が、地方自治法の改正により一つの条文に統合され、委員の選任等に関する事項が、条例に委任されたことによるもの。

##### ● 政務調査費の交付に関する条例の一部改正

政務調査費の名称を「政務活動費」に改め、「会派」に係る条文を削除し、新たに「経費の範囲」と議長が、その透明性の確保に努める旨の規定を条文に明記した。

# 効果的な運営に

## 指定管理者の指定に同意

▽森林公園

美深アイランド

●指定管理者となる

団体

(株)美深振興公社

代表取締役

山崎 晴一

●指定期間

平成25年4月1日～

平成30年3月31日

(5年間)

▽ほっとプラザ・スマイル

スマイル

●指定管理者となる

団体

第2町内会

会長 田上 史

●指定期間

平成25年4月1日～

平成30年3月31日

(5年間)



建設が進む「ほっとプラザ・スマイル」

集客が期待されるびふか温泉

**質問** 美深振興公社の平成23年度決算において、700万円程の赤字が計上されているが、今後の指導を含め5年間とした考えは。

**企画グループ主幹**

当初は3年、前回5年で集客に向けての企画など経営的には5年間は必要だと判断している。

(賛成9 反対1)

**質問** 期間を5年にした理由と、今後5年にするのか。

**副町長** 新しい制度が、スタートを切った段階では、3年という比較的短い期間で、お互い検証し合えるということから実施した経緯がある。

「公募によらないもの」については、施設とそれを利用するものとの利害なりが一致し合理性があり、「公募によるも

の」についても、管理者・町ともにノウハウが出来、5年間の方が業者の安定につながるかと判断。

**質問** この施設は初めてのオール電化施設。節電要請が求められるなか、電気代が莫大に掛かると思うが運営についてどのように協議され協定を結んだのか。

**保健福祉G主幹** 風呂と暖房は節電が難しいが、使用されていない部屋等は徹底して節電する様要請している。

(賛成7 反対2)



更新されるびふか温泉バス

### 第3回臨時会

平成24年10月30日開催

財産の取得について審議した。これは美深振興公社使用の送迎バスに供される。

- 取得財産 42人乗り中型バス
- 取得金額 3,190万円
- 取得先 (株)坂井モーターズ (全員賛成)

### 第4回臨時会

平成24年11月27日開催

一般会計補正予算537万円を追加するもの。補正内容は12月16日執行の第46回衆議院議員総選挙に伴う経費のため。

(全員賛成)



衆議院議員総選挙開票の様子



一般会計補正

(主な質疑)

**質問** 燃料購入費一時扶助費534万円の目的、支給対象世帯、交付の方法は。

保健福祉G主幹

目的は低所得者の経済負担軽減、対象世帯は町民税非課税世帯で①高校生以下の子供を有する家庭②身体障害者手帳交付世帯③知的障害者判定書交付世帯④精神保健福祉手帳の交付世帯⑤70歳以上のみの世帯⑥非生活保護だが保護を必要とする世帯⑦生活保護世帯、交付の方法は現金を口座振り込みとする。

**関連質問** 現金支給では燃料購入以外の利用や町外業者からの購入も考えられ、地元業者が潤わない



心あたまる福祉灯油

のではないか。

保健福祉G主幹

灯油購入に限定するとオール電化世帯が対象とならず、暖房対策の公平性を図る上での考えで、冬期間のピンポイントとして低所得者への経済負担軽減の対策。

**質問** 美深厚生病院の赤字追加補てん(1461万円)の今後の考え方は。

**住民生活課長** 美深厚生病院は町の公的病院として今後も支援していきたい。

**関連質問** 赤字補てんの財源の裏打ちとして交付税措置はあるのか。

**住民生活課長** 平成20年度から特別交付税の対象となり、平成23年度分として1億1715万円の決定通知を受けている。

**質問** 駅東地区の土地の財産売払い収入(1686万円)があるが単価設定は。

**総務G主幹** 天木跡地で、近隣の宅地と現状を宅地造成した場合の経費を差し引き単価算定した。売

り払う相手により変動はなく、統一した単価設定。売り払う相手は5社。

(質問者 岩崎・諸岡・藤原・藤守・山本・南議員)

(賛成9反対1)

国保会計補正

**質問** 上川広域滞納整理機構負担金の均等割りの減額理由は。

**税務G主幹** 機構への引き継ぎ額が579万円から492万円に減額したため。

下水道会計補正

**質問** 今回、下水道事業債を減額し、一般会計繰入金と臨時財政対策債で補っているが、この後の町への影響は。

**管理G主幹** 当初企業債2125万円予定したが一次配分は50%で、二次配分は未定の為の措置。起債しないことで償還もない。  
(質問者 齊藤議員)(全員賛成)

音威子府村が加入

名寄地区衛生施設事務組合規約の変更を議決

これまで名寄市・美深町・下川町で構成されていた当組合に音威子府村が加入することにより、規約の字句の変更と組合議員定数が現行9名から13名となる。また平成25年度に整備を計画している広域ごみ最終処分場の管理運営についての条文等が追加されている。これにより最終処分場の経費負担は均等割30%、人口割70%とするもの。

※ 美深厚生病院運営補助金 (平成23年度当初予算1億2,600万円)

# 一般質問



岩崎 泰好 議員

- 1 「子供たちの可能性をどんどん伸ばす」情報通信技術を活用した教育（ICT教育）の実践について
- 2 再生可能エネルギー活用について、その積極度を問う

## 問

情報通信技術を生かした教育の実状は

## 答

文科省の検証を見極め実践へ

**質問** 「子どもたちの可能性をどんどん伸ばす」情報通信技術を活用した教育（ICT教育）の実践について、平成21年導入したICT教育関連機器とシステムとその目的は。

**教育長** 学校情報通信環境整備事業という文科省の事業で町

内の小中学校に電子黒板を各学校に1つずつ導入。美深中学校、仁宇布小中学校に校内の無線LANの設備をした。この事業の目的は、解りやすい授業の実現と子ども達の情報活用能力の育成を図るということ。利用状況は、電子黒板は小学校では週2時間、中学校



教育に効果が期待される電子黒板

では週5時間ほどの利用。

**質問** 2年間の運用実績状況と、それによる教育効果・有効性がどのように現れたのか。また、これからの課題と、解決策は。

**教育長** 総合的な学習を中心に各教科で

## 問

積雪寒冷地での太陽光発電は

答 中学校に設置で検証へ

**質問** 再生可能エネルギー活用について、その積極度を問う。過去の議会の中では消極的な姿勢の言動が多く見受けられるが、その理由は。

**町長** 本町においても可能な再生エネルギーについて、検討を進めているところ

利用可能なものについて使っていくという状況。電子黒板を対応とした色々なシステムの開発というのが現在進んでいないのが実態。タブレット化も含め文科省の検証も十分見極めながら必要な時期に検討をしていく。

な検証を行う必要があると思うが、町長の考え方は。

**町長** 太陽光については積雪地における発電量の確保がひとつの課題と考えているが、中学校に設置する太陽光パネルのデータが有効なひとつの検証材料となるのかと思っている。

**質問** 中学校改築における太陽光発電について、データ集積などの具体的対応が必要と思うが、教育長にその考えを伺う。

であり、決して消極的ということではない。十分な準備と関係機関が一体となった取り組みが必要であり、着実に導入可能なものから実施をしていきたいと考えている。

**質問** 太陽光、風力、小水力発電の技術的

# 一般質問



藤原芳幸 議員

1 高齢者支援・地域福祉の充実



第5町内会 高齢者サロン

**問** 高齢者サロン、今後の展開は

**答** 他の町内にも展開したい

質問 12月から第五町内会でスタートした「高齢者サロン事業」とても良い事業なのでどのような目標ですめるのか。次年度も継続していくのか。

町長 道の「地域支援合い体制づくり事業の補助」を受け、

**問** 高齢者への身分証明書発行は

**答** 制度があるので活用を

モデル地区を設定しスタートした。地域の事情を考慮し、着実に事業の展開を図りながら他の町内にも展開できるようにすれば良いと考えている。

質問 高齢者が金融機関等を利用する際身分証明を求められる事があり、町に身分証明書の発行を期待する声があるが。

町長 総合窓口で対応している。住民基本台帳カードとして発行しており、写真付き、写真なしで選択でき全国的にこの制度は確立しているので活用してほしい。

**問** 「地域支え合い」どう構築していくか

**答** 各機関の連携がカギ

質問 地域福祉の充実を図るには、地域の繋がりが欠かせない。高齢化が進み、取り巻く環境がどんどん変化している中の将来展望は。

町長 行政、自治会、民生委員等との日頃

の連携が大事である。町内の実態を調査し、町内会との話し合いを重ねていくことが必要だ。

また、日頃の諸問題等は地域担当員を増強しているので各自治会で工夫して活用してほしい。



金融機関で新規に口座を開設するときや、10万円以上の振込時に身分証明を求められた際に使用できる。また、住民票やパスポート申請を行うときにも使用でき、運転免許証を持たない人、返納した人は、身分証明書として活用できる。

《町広報、1月号にも詳細掲載》

# 一般質問



諸岡 勇 議員

- 1 環境保全と安心安全な住民生活を守る施策は
- 2 商工業振興施策の考え方は

## 問

環境保全計画作成の考えは

## 答

道の保全地区、鳥獣保護区で守られる

質問 総合計画での環境型社会の具体的な取組みと長期的な環境保全計画を作成する考えは。

また、農薬や化学肥料減、有機資源堆肥化推進、小車旧水銀鉱跡周辺の水資源の環境対策は。

町長 本町の自然環境は、農林業の振興、観光資源として私たちの快適な生活環境を育むもので、まちづくりの重要な基盤。

第5次総計では、ごみ処理体制の充実をはじめとする環境対策を進め循環型社会の推進に寄与する計画となっている。ごみ排出量やごみのリサイクル率は良

好と認識している。長期的な環境保全計画は、松山湿原は北海道の指定する自然環境保全地域及び鳥獣保護区となり、函岳も鳥獣保護区で、保全や対策が講じられており、現時点では町の立場で計画を重ねる考えはない。農業者の取組みについては、昼夜の温度差を生かし、農薬や化学肥料の使用を最小限に抑えた安全な農業生産を図るクリーン農業に取り組んでいる。平成19年度からエコファーマーの農家認定と、フルーツトマト、南瓜、ソバに特別栽培農産物の取組みがある。堆肥化について、牛糞

## 問

※水源涵養林の管理は

## 答

健全な森林環境を目指す

を切り返し堆肥化し圃場に還元する自然環境型農業を支援する。水銀鉱山は終戦後閉山され、鉱山の保安や公害の防止は、産業経済省が所管しており当町では対策の考えはない。



差別化を図る特別栽培米

質問 河川の生息生態系を守る対策として生息調査等の対応は。

例年植樹がされているが、森づくりに対し計画ある対策が必要でないか。飲み水源地の涵養林の保育、管理の現状を伺う。

町長 自然のままの河川環境となっており、河川の生息魚は、良好に維持されている。森づくりの計画は、伐採、造林、保育等で森林保全に努めるが、平成25年度より面的なまとまりの施策を行う。水源涵養林の管理で健全な森林環境を目指す。

## 問

時限立法の快適住まいづくりの考えは

答 新年度で具体化したい

質問 快適住まいづくりと商工業振興補助金制度は今年度が最終で、継続の要望があり、その対応は。

交付金が5800万円を超えており、地域活性化となり景気刺激対策になっていくが考えは。

町長 商工会、建設業界から継続要望が強く求められ、認識を深めている。一定の成果、実績を踏まえ前向きに検討していきたい。

※ 水源涵養林：水を蓄え河川の水量を調節して渇水しないようにする目的の森林

# レポート

ふるさと会・友好姉妹都市事業

## えん「縁」を生かした交流へ

事業について  
をしました。

### 総務住民 常任委員会

け、連携が必要。8月に発会した美深ふるさと会（本平武士会長）の今後の活動に期待したい。

②添田町、アシユクラフト村、太田市、富士重工との交流は、それぞれの特徴を生かし、目的を持った交流が基本である。教育、文化交流や

経済交流、人的交流などそれぞれの地域、団体の特徴を生かした交流が重要。特に富士重工はわが町に自動車試験場を設置している縁もあり、社員や家族にも美深町を訪れてもらえるような企画やPRをしていくことが必要。

▼調査日  
11月2日

#### 調査事項

ふるさと会、友好都市及び都市交流事業の現状と課題

#### ▼調査内容

①ふるさと会（東京美深会、札幌美深会）の活動と課題  
②友好都市、姉妹都市との交流事業の現状と課題

#### ▼調査のまとめ

①東京美深会は22年、札幌美深会は50年の歴史があるものの会員の高齢化、固定化が進んでいる。今後は、会員の拡大、ネットワークづくりへの協力、支援が必要である。またネットワー



昨年の添田町訪問団一行

# 始動

お知らせ

## 町民との懇談会

3月下旬 予定

テーマ

「新年度予算と暮らし」

## 広報と広聴の 新たな取り組みへ

### 議会広報特別委員会

美深町議会では、「開かれた議会づくり」の推進について議会広報特別委員会を中心に新たな取り組みの議論を始めた。広報と広聴の更なる充実を進め、住民により身近な議会を目指すもの。平成24年11月19日に第1回会合を開き、その進め方と推進内容について協議、平成25年11月をめどに「広報・広聴のあり方」の議論と調査研究を深め方向性を見出すこととなった。

今後、定期的に「広報・広聴のあり方検討会議」として協議を進めていく。

# 委員会

## 林産業活性化のために

### 路網整備事業

### 産業教育 常任委員会

所管する事務  
休会中に調査

▼調査日  
10月15日

▼調査事項 1  
下水道終末処理場の現状について

▼調査内容  
①汚泥処理にかかる年間処理量と検査内容・項目  
②汚泥処理の現状と課題  
③堆肥場での処理状況

▼調査のまとめ  
施設は長寿命化に向け計画的に修繕を行い、機械設備の整備も図り、市民の生活環境向上の施設になっている。施設管理は、(株)データベースで機械設備は年間400万円で修繕、塩素処理され、管が腐食していく課題がある。技術的には問題点はなく、保守点検は法定項目以上を実施、適切に維持管理している。汚泥の



斑溪地区での路網整備

▼調査のまとめ  
①森林経営計画は森林法の一部改正により認定を受けた計画  
②路網整備事業の内容  
▼調査内容  
①森林経営計画の概要  
②路網整備事業の内容

堆肥化はJ A北はるかに業務委託している。

▼調査事項 2  
森林経営計画及び路網整備事業の内容

に基づき、補助金・融資・交付金等の支援措置が講じられる。計画は、平成25年4月始期で今年度中に作成される。  
なお、計画書は5年ごとに作成する。  
②路網整備事業では国の補助事業を活用し島呂布・斑溪・大手線を実施。  
森林作業の効率化や林産業の活性化を図るため、継続事業として進めるべき。



師走の第46回衆議院議員総選挙は、大方の予想どおり自民党の圧勝だった。安倍新政権への期待からか外国為替市場では円安が進行し、日経平均株価は大幅反発、全面高の展開となったと報道された。「ご祝儀相場」で終わらぬよう期待したいものだ。

それにしても、選挙期間中から本格的に降り始めた今冬の雪、12月末の積雪は120cm・平年比140%とすでに平年を上まわり、昨年に引き続き大雪の様相である。本町の除排雪事業道路の総延長は、美深～旭川間の距離を優に超える139kmになる。今年度の除雪対策費は、平年並みの積雪を予定して9,200万円程であり、ほかに老人世帯除雪サービス事業として400万円が予算措置されている。

しかし、元旦以降の降雪状況を見ると、今後の除排雪が後手に回らぬよう、追加予算の準備をしているとのこと。今年度は、1億円を超える除排雪対策事業費となるだろう。

除排雪事業は、町民の期待を担って、すでに本番に入っている。町民の方々も、一段と重みを増す雪と闘っている。だが、この雪対策にかけた費用の多くと労力は、毎年春の雪解けとともに水になって流れてしまう。・・・なんだか・・・むなしい・・・

# 私からのメッセージ



私は平成23年1月に美深町に移住してきて、昨年11月に恩根内地区で新規就農しました。夫婦で約60頭の牛を飼う酪農家です。私たちが夫婦は、生



まれも育ちも関東です。3年前に就農する場所を探している中で「R&Rおんわい」という新規就農希望者をサポートしてくださる酪農家の組織を知り、初めて美深町を訪れました。

## 初めまして、中村牧場です (恩根内自治会) 中村篤子さん

そして研修生として受け入れて頂き、会員の方の牧場で1年9ヵ月間学ばせていただきました。就農して改めて感じていたことは、自分たちが今ここにあり、組織の方々が恩根内地区をはじ

め美深町の皆さんのお陰であるということとです。研修中から現在に至るまで、本当に多くの人に温かく支えて頂き、心から感謝しています。美深町が今以上に「温かく元気な町」になるよう、私たちがなりに頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。



## かぼちゃどぶろく

(第5町内会)

齊藤雄太さん

今回、美深町商工会青年部で企画しました「かぼちゃどぶろく美深」を販売させて頂いていただき、短期間で完売となりました。ありがとうございます。美深町産もち米「きたゆきもち」と、南瓜「くりゆたか」

を使用し、くりゆたかの甘さと香りのあるお酒に仕上がったと感じています。地場産品を使用した特産品開発事業として、今回のお酒造りを企画しましたが、商品を作っただけでは特産品として扱っ

てもらえないこのことで、青年部で商品名やPR方法を議論し、「美深」という商品名とさせていた

になると考え、昨年12月に町内限定での試験販売とさせて頂きました。今後、本格販売を計画しておりますので、特産品として、またコミュニケーションのひとつとして使っていたいただきたいと思っております。



## 編集後記

びふか議 会広報が発 刊されたの は、199 2年4月。年4回発行し、今号で84号。今年20年を経過した。

その間、私へのメッセージに投稿いただいた町民の皆さんは142名にも及び、それぞれの思いが、ジーンと伝わる寄稿の数々を読み返しながら、町民に一番近い存在の議会でありたいと思う編集作業。出来たら、1冊の本に仕上げたい初夢を抱いている。



議会広報特別委員会